
F A X 送付案内

平成27年4月28日

A 4 5 枚 (本状含む)

関係各位



鹿児島県農政部畜産課 家畜衛生係

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL:099-286-3226 FAX:099-286-5599
eikan@pref.kagoshima.lg.jp

台湾等における鳥インフルエンザの発生について

平素よりお世話になっております。

台湾等における鳥インフルエンザの発生について、農林水産省より情報提供がありましたのでお知らせします。

【台湾における発生】

発生日：2015年1月以降

血清型：H5N2, H5N3, H5N8亜型 (高病原性)

発生状況：合計903件 (農場, と畜場, 係留所での確認)

【韓国における発生】

韓国においては、2014年1月以降に合計359件の発生が確認されています (うち、2014年9月以降は、147件の発生)。

【その他の地域における発生】

- ・アメリカにおいては、2014年12月以降に合計73件の発生が確認されています (H5N2：70件, H5N8：3件)。
- ・カナダにおいては、2014年11月以降に合計15件の発生が確認されています (H5N1：1件, H5N2：14件)。

鳥インフルエンザに関する情報 (農林水産省HP)

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

このように、本病の発生については、世界各地で報告されており、国内でも昨年末から各地の野鳥、宮崎県・山口県・岡山県・佐賀県の養鶏場において確認されたところです。

依然として、国内での発生リスクは高い状況にあることから、引き続き、緊張感を持って、本病侵入防止対策に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

本病侵入防止対策

野鳥, ネズミ等の侵入防止対策, 消毒の徹底 (車, 人) をはじ

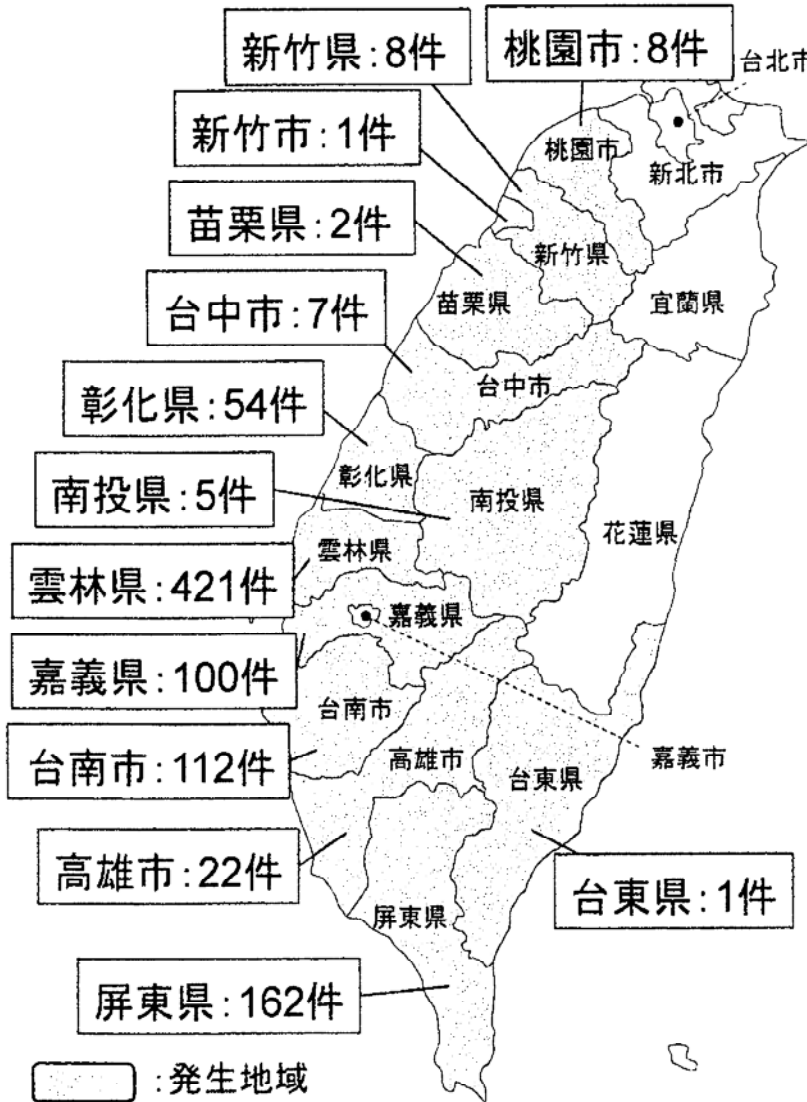
めとした飼養衛生管理基準の遵守の徹底と、特に下記事項について日頃から確認いただき、小さな不備でも修繕・整備など早急を実施していただくよう、また、異常を認めたと際の早期発見早期通報の徹底についてもご指導いただくようお願いいたします。

記

- 1 鶏舎の穴をふさぐ（野生動物・ネズミ等の侵入防止）
- 2 防鳥ネットの補修（隙間のないように）
- 3 飲み水対策（水道水でない場合は消毒実施）
- 4 鶏舎専用の長靴、衣服の着用（鶏舎にウイルスを持ち込まない）
- 5 消毒の実施（鶏舎毎の踏込消毒槽、車両消毒、手指の消毒、鶏舎周囲への石灰の散布）

台湾における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況

(2015年1月～)



合計: 903件※(農場・処理場・係留場)

血清型
 ・H5N2*
 ・H5N3
 ・H5N8
 ・H5N2/H5N8混合感染
 ・H5N2/H5N3混合感染
 ・H5**

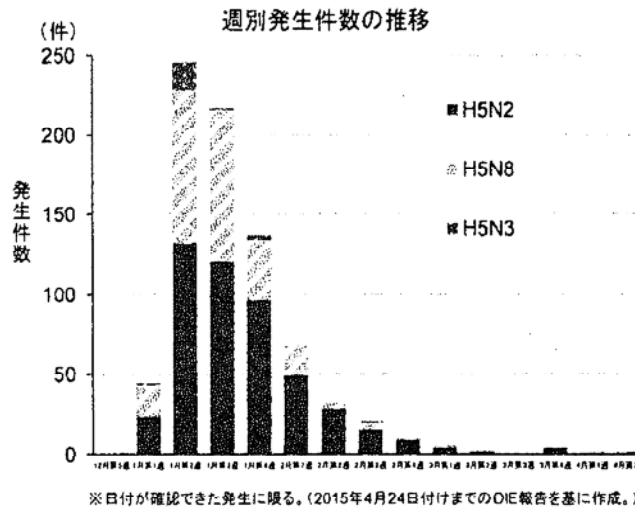
※発生件数の血清型別の内訳は未確定。
 うち少なくとも7件は低病原性鳥インフルエンザの発生。

*過去に台湾で検出されたウイルスによる感染及び過去に台湾で検出されたウイルスとの混合感染を含む
 ** N亜型・病原性未確定

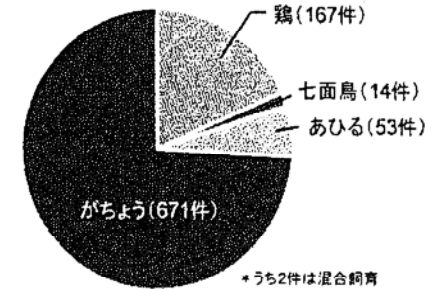
殺処分完了: 897件(453万3,107羽)

○野鳥における検出

確定日	場所	亜型	鳥種
3/16	高雄市高屏溪	H5	不明
3/9	高雄市茄苳湿地	H7N9 (低)	カモ
3/1	台南市安南区	H5	クロツラヘラサギ
2/1	台南市七股区	H5	クロツラヘラサギ
1/30	台東県台東市	H5N2	ゴイサギ
1/19	屏東県長治郷	H5	ツグミ
1/18	苗栗県竹南鎮	H5N3	シロガシラ (3羽)



家きんの種別確認件数(905件・)



台湾における種別飼養状況

	鶏	あひる	がちょう
飼養戸数	5,798	2,816	971
飼養羽数(万羽)	9,213	962	177

※2015年1月15日の台湾当局公表資料を基に作成

注: ・本図のH5N2及びH5N3亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、これらウイルスのH5遺伝子は韓国製のH5N8亜型ウイルスのH5遺伝子と近縁。

・以下については、本図に記載していない。

①1月6日屏東県の採卵鶏農場で発生した従来型(1件)。

②発生農場の半径1km以内の家きん農場におけるサーベイランスの結果、37農場でH5亜型のウイルスを検出。

出典:台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局、OIE

2015年4月26日18時現在

2015年4月20日現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型)の発生状況 (2014年1月～)

家きんでの確認件数: 359件

京畿道: 49件

仁川広域市

ソウル特別市

江原道: 1件

忠清北道: 93件

慶尚北道: 3件

大田広域市

世宗特別自治市: 4件

忠清南道: 32件

大邱広域市: 1件

全羅北道: 71件

(初発) 2014年1月16日
全羅北道 高敞(コチャン)郡

蔚山広域市: 3件

全羅南道: 97件

(再発) 2014年9月24日
全羅南道 靈岩(ヨンアム)郡

釜山広域市: 1件

光州広域市

慶尚南道: 4件

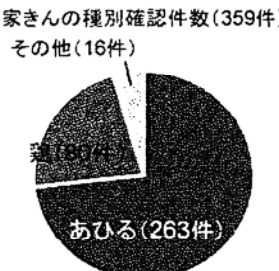
済州道

- : 家きんでH5N8が確認された市・郡
- ☆ : 野鳥でH5N8が確認された市・郡
- : 家きんでH5N8が確認された道・特別自治市等

※ 日付は申告日
 ※ 下線は更新点(4月5日時点から)
 ※ 出典: 韓国農林畜産食品部 等

【家きんでの発生・対応状況】

- 発生状況(4月20日時点)
 - ・韓国当局の公表している発生件数: 38件
 - ・他に、発生農場周囲・疫学関連農場等321件でH5N8亜型鳥インフルエンザが確認。
- 殺処分(4月19日時点)
 - ・1,864万3千羽(750農家)
 - 〔2014年9月3日まで: 1,396万1千羽(548農家)
2014年9月24日以降: 468万2千羽(202農家)〕
 - ・発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)
- その他
 - ・9月4日、全ての移動制限が解除されたが、9月24日、2か月ぶりに再発
 - ・9月以降、147件の確認(4月20日時点)



【野鳥での検出・対応状況】

- 野鳥検査(4月19日時点)
 - ・陽性: 58件(トモエガモ10件、マガモ9件、カルガモ5件、ヒシクイ5件、コガモ4件、マガン2件、オオハクチョウ1件、ダイサギ1件、カイツブリ1件、オオバン1件、アオサギ1件、オカヨシガモ1件、ヒドリガモ1件、糞便等16件)
- 対応
 - ・野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒

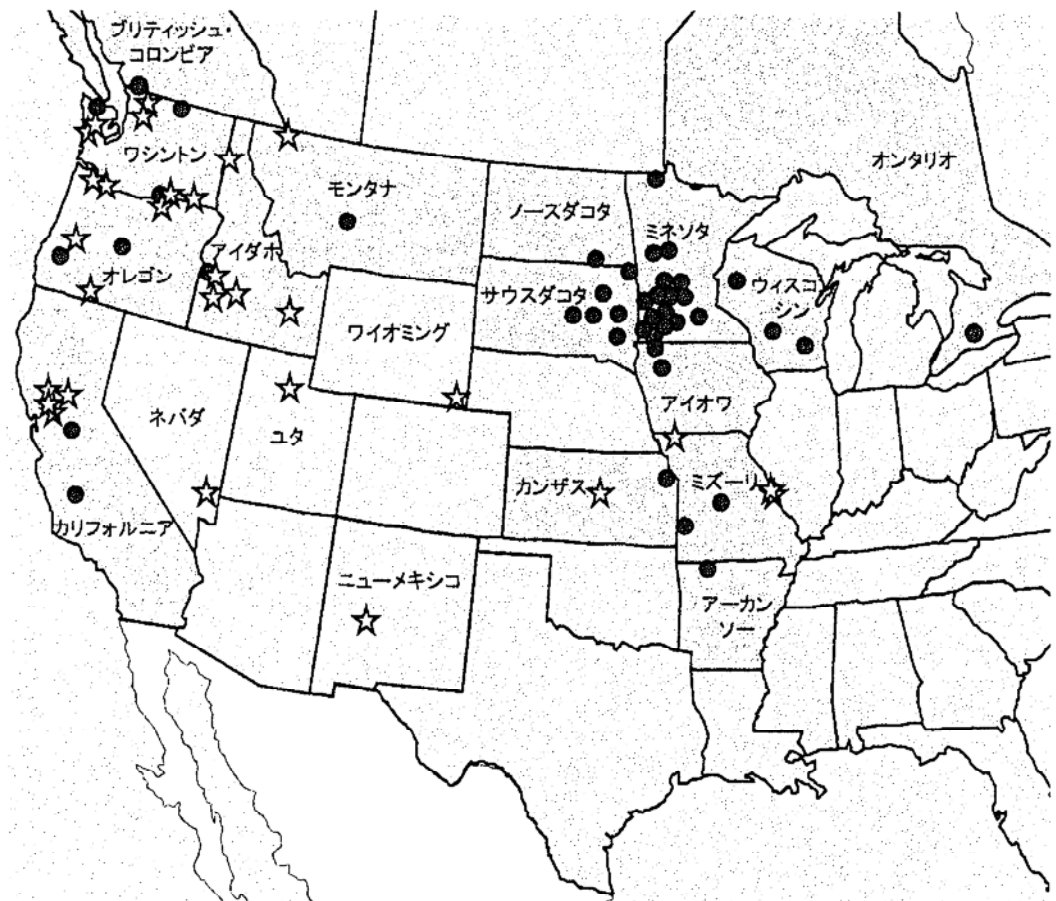
北米における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2014年11月～)

○米国: 家きんでの確認件数 73件

発生州	発生件数					家きんでの初発日
	合計	H5N2	H5N8	H5N1	H5	
アイダホ	1(11)	1(5)	(6)			2014年12月10日
オレゴン	2(17)	1(14)	1(3)			2014年12月16日
ワシントン	5(19)	5(11)	(5)	(3)		2014年12月24日
カリフォルニア	2(7)		2(7)			2015年1月19日
ミネソタ	46	46				2015年2月26日
ミズーリ	2(4)	2(3)			(1)	2015年3月4日
カンザス	1(1)	1(1)				2015年3月5日
アーカンソー	1	1				2015年3月8日
モンタナ	1(1)	1(1)				2015年3月23日
サウスダコタ	6	6				2015年3月30日
ノースダコタ	1	1				2015年4月8日
ウィスコンシン	3	3				2015年4月9日
アイオワ	2	2				2015年4月12日
ユタ	(1)		(1)			-
ネバダ	(1)		(1)			-
ニューメキシコ	(1)				(1)	-
ワイオミング	(1)	(1)				-
合計	73(64)	70(36)	3(23)	(3)	(2)	

○カナダ: 家きんでの確認件数 15件

発生州	発生件数					家きんでの初発日
	合計	H5N2	H5N8	H5N1	H5	
ブリティッシュ・コロンビア	13	12		1		2014年11月30日
オンタリオ	2	2				2015年4月3日
合計	15	14		1		



※()内の数字は野鳥における検出件数

- : 家きんでHPAIが確認された州
- : 家きんのHPAI確認地点
- ☆ : 野鳥のHPAI検出地点